

企業の財務リスク管理の枠における 企業年金資産運用

HCアセットマネジメント株式会社
代表取締役社長 森本紀行

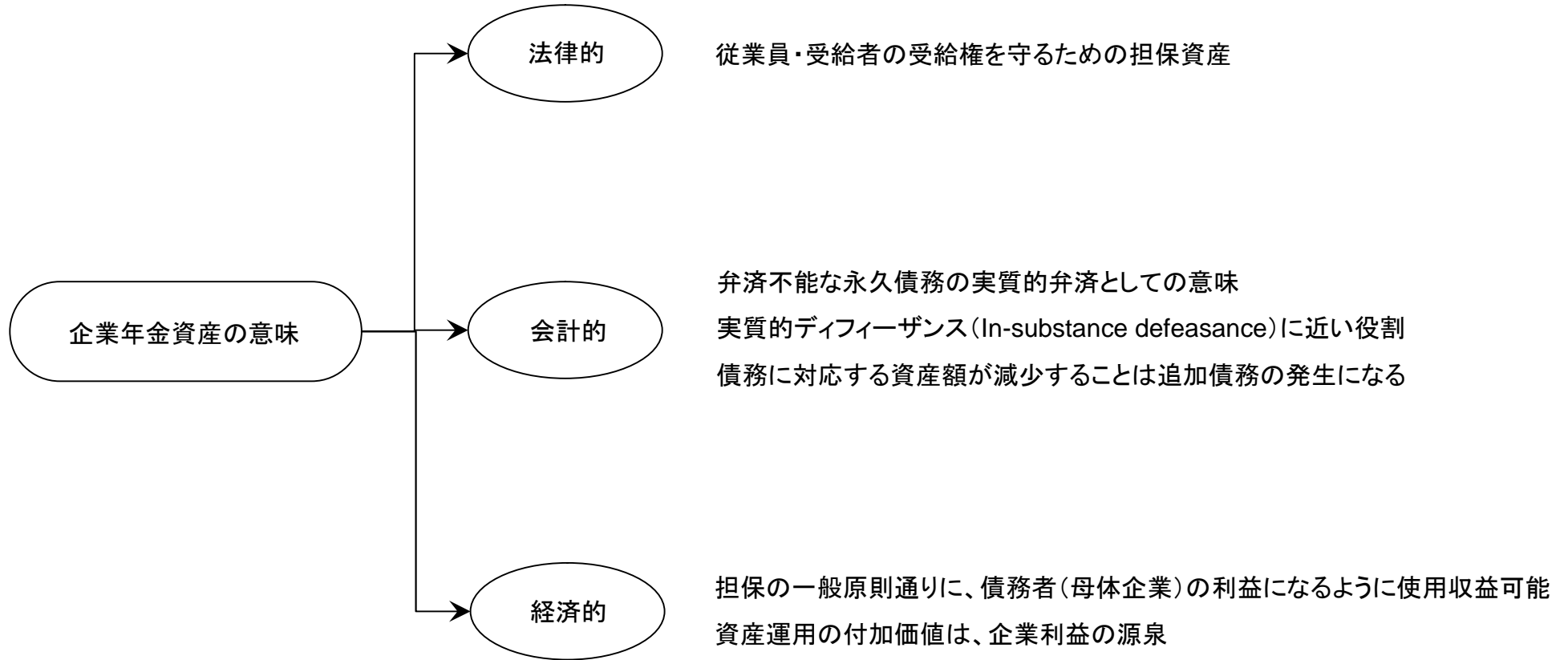
金融商品取引業者 関東財務局長（金商）第430号
加入協会 （社）日本証券投資顧問業協会

<http://www.hcax.com>
<http://www.fromhc.com>
<http://www.ventureza.jp>

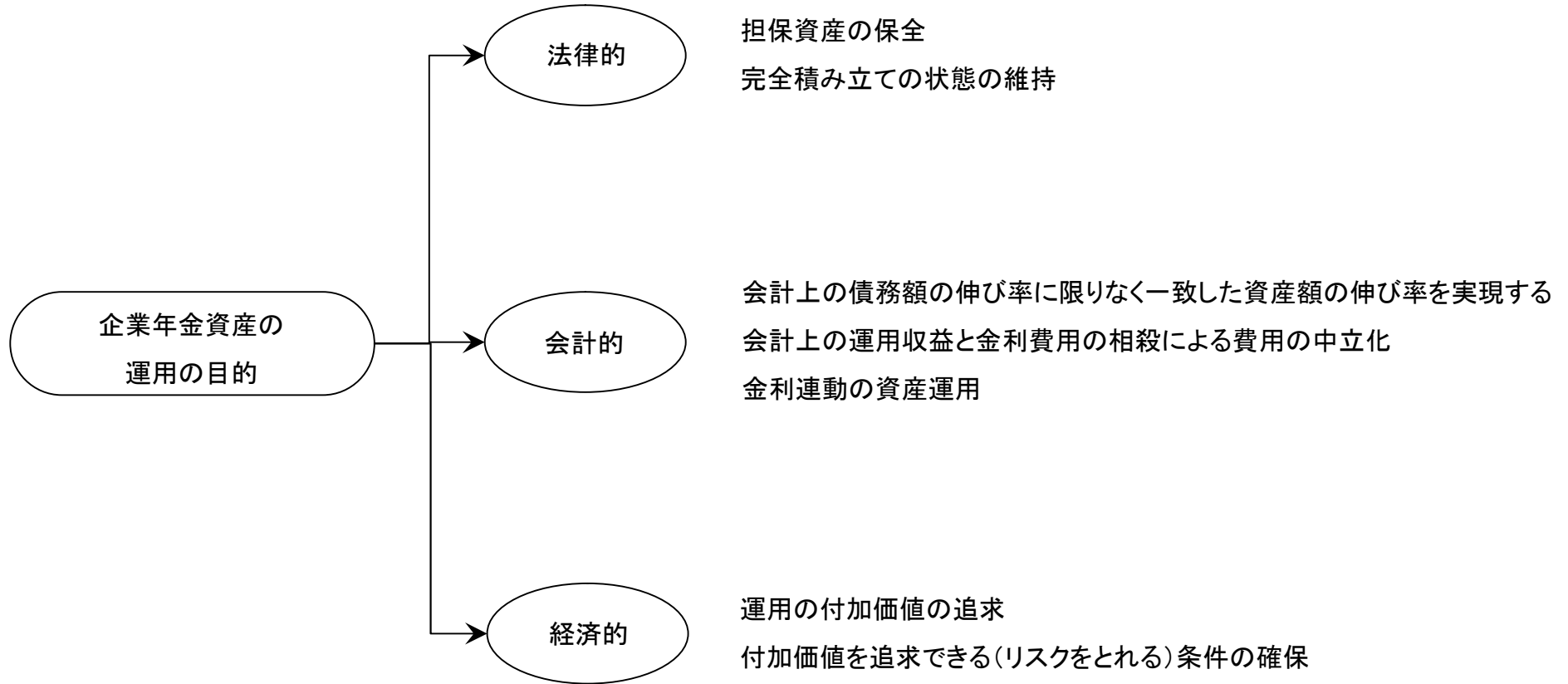
2009.02.20



企業年金資産の意味



企業年金資産の運用の目的



企業年金が資産運用のリスクをとることのできる条件

企業年金基金自体が
「資本」=過剰積立をもつこと

年金資産	年金債務
	剰余 (過剰積立)

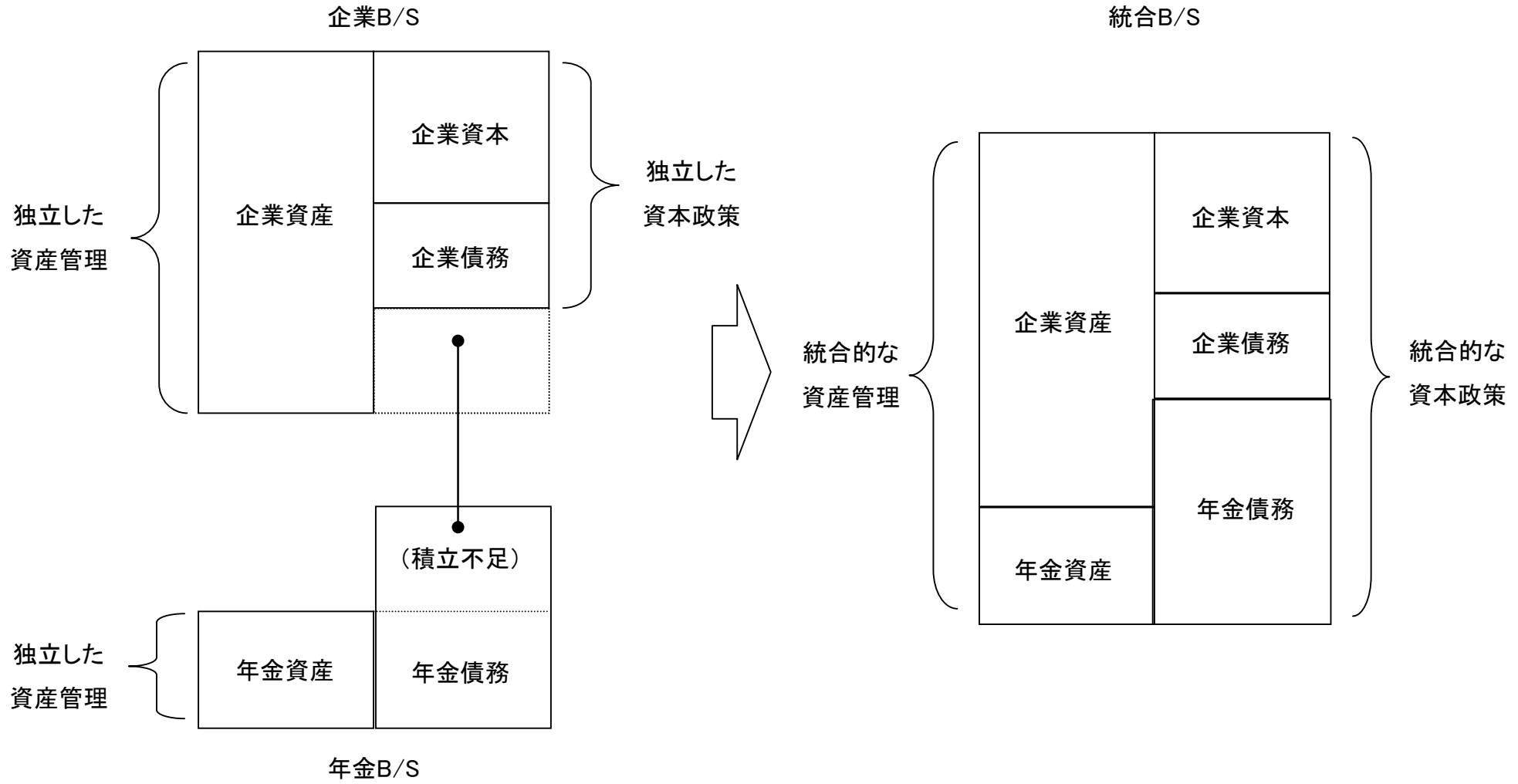
または/と同時に

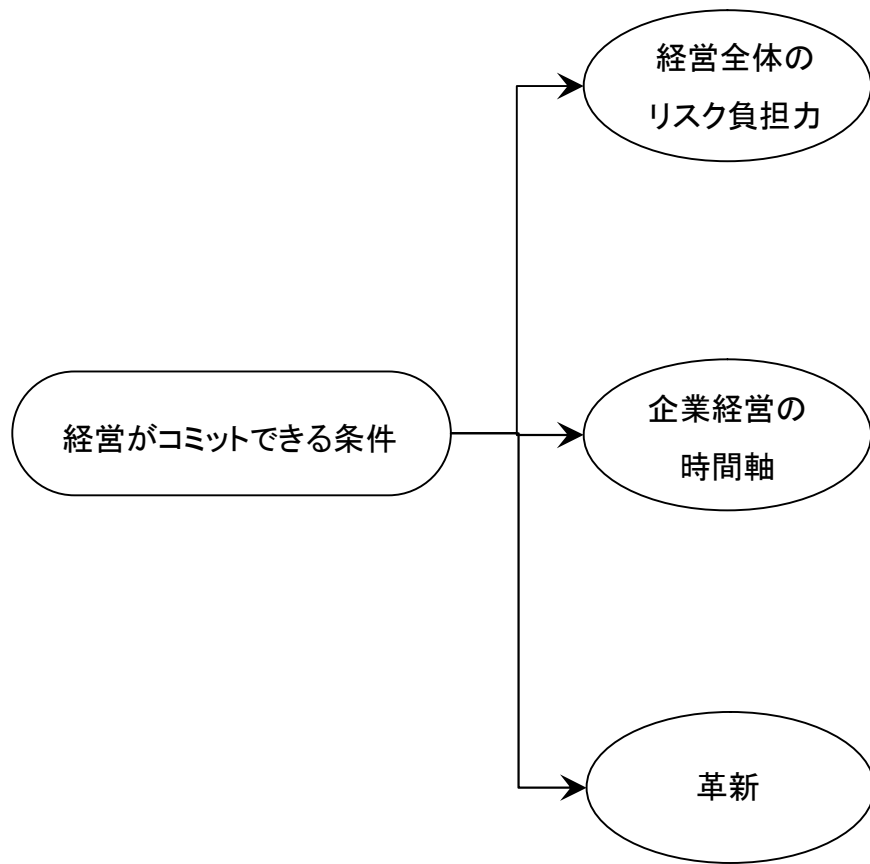
母体企業が追加掛金拠出により不足を埋める
「覚悟」=コミットメント・確約のあること

年金資産	年金債務
	母体企業の コミットメント

- ⇒企業年金制度は閉じていないので、追加掛金で補填されうるかどうか、債務(資産)性格を規定する
- ⇒実質的に閉じた状態に近い制度(例えば、成熟度の高い制度や、掛金引上げに実際上の障害の多い制度)は、内部的剰余がないとリスクはとりにくい

企業年金資産のリスクと企業全体の財務リスク





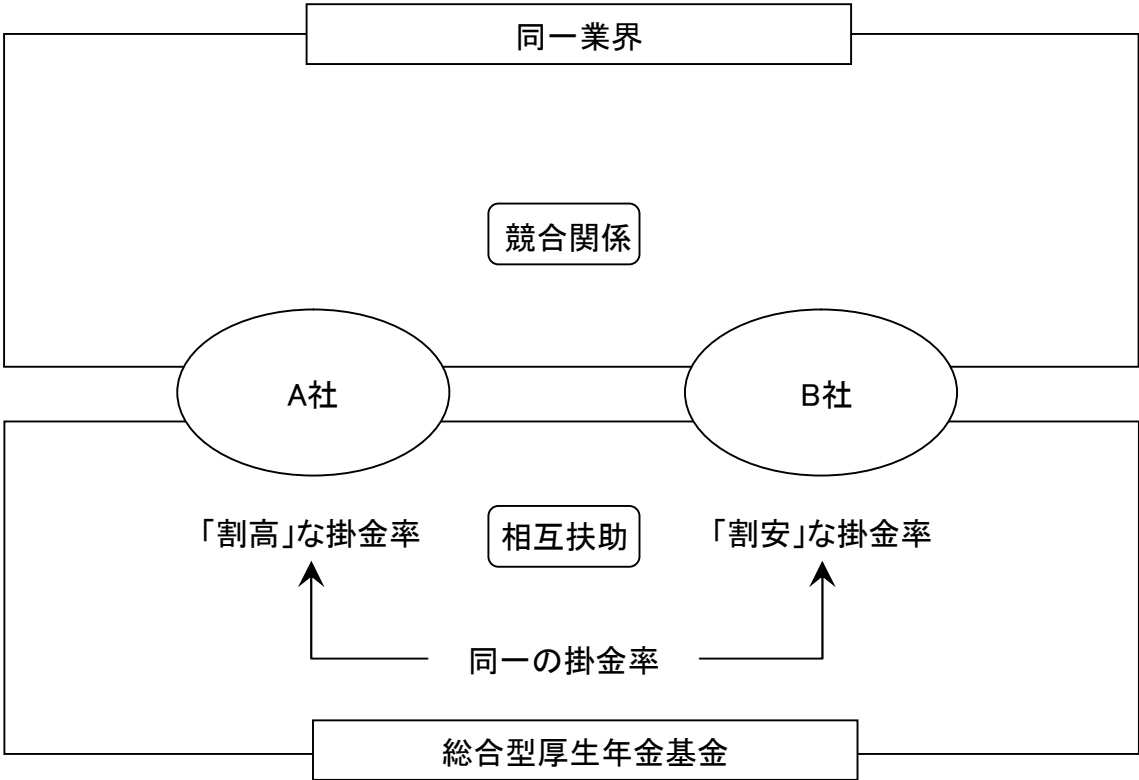
企業年金単独ではなく、経営全体で吸収できる(あるいは、すべき)リスク
本業との相関への配慮

「成熟」の意味は、経営における比重の増大と、経営のリスク負担力低下のこと

長期運用とは、「長期的に振り返ればリターンが出ている」ということではない
長期の視点で、現在の問題に取り組むのが、経営における長期
時間軸が、経営と企業年金とで一致していることが必要

環境の変化に対応するのが、経営の革新
年金資産運用も、常に革新を志さなければ、経営の信任は得られない

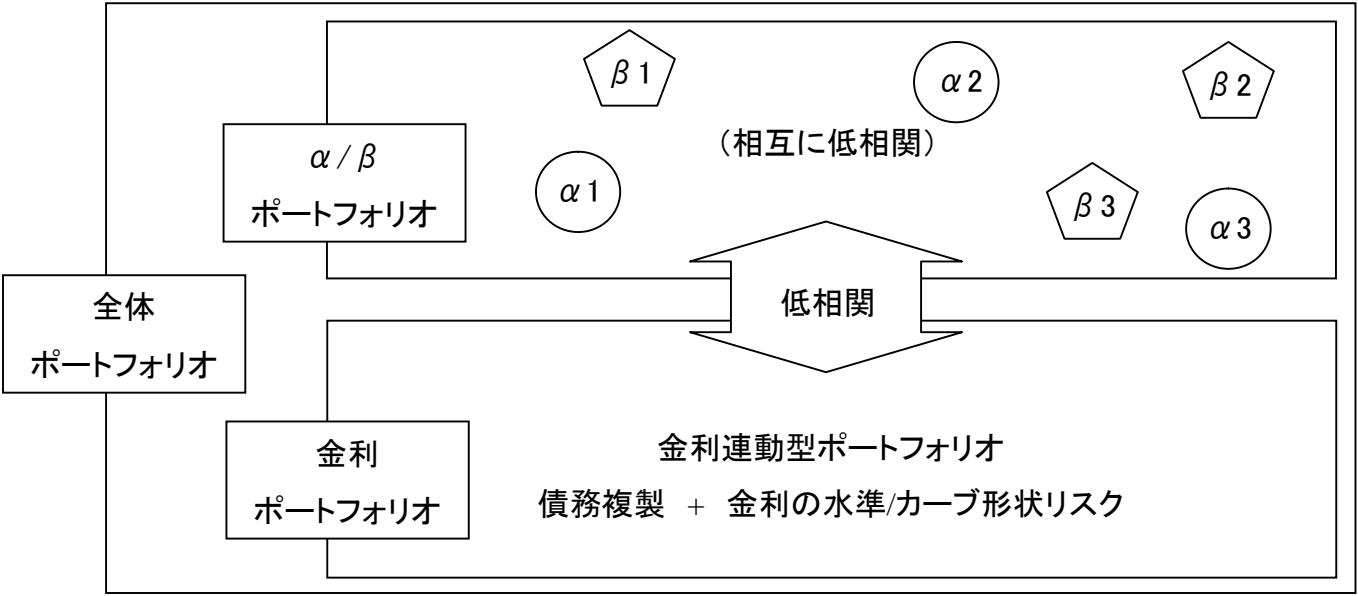
相互扶助と個社の利害 - 総合型厚生年金基金



企業年金の債務と資産の適合性

	債務の構成	資産の構成
企業の 長期的な利潤源泉 になる部分	スキル(アルファ)	ヘッジファンドなど
	時間のプレミアム	プライベートエクイティなど 非流動資産
	平均的な ビジネス・リスク のプレミアム	クレジット・ グローバル株式・ グローバル債券など
企業会計上 ネットアウト される部分	長期平均的な 名目金利水準	長期国債等

企業年金資産運用の概念図



- 本セミナーは、主として企業の財務リスク管理と企業年金資産運用の関連について解説・検討を行うものでございます。本セミナーを通じた企業年金経営についてのご理解を今後の投資判断のご参考としてお役立て下さい。
- 本セミナーは企業の財務リスク管理と企業年金資産運用の関連についての解説・検討を行うものであり、セミナーのテーマに関連する特定の金融商品等の推奨・勧誘を行うものではありません。
- 本資料中のいかなる内容も将来の投資成果及び将来の市況環境の変動等を保証するものではありません。
- 本資料の著作権その他知的財産権は当社に帰属し、当社の事前の許可なく、本資料を第三者に交付することや記載された内容を転用することは固く禁じます。